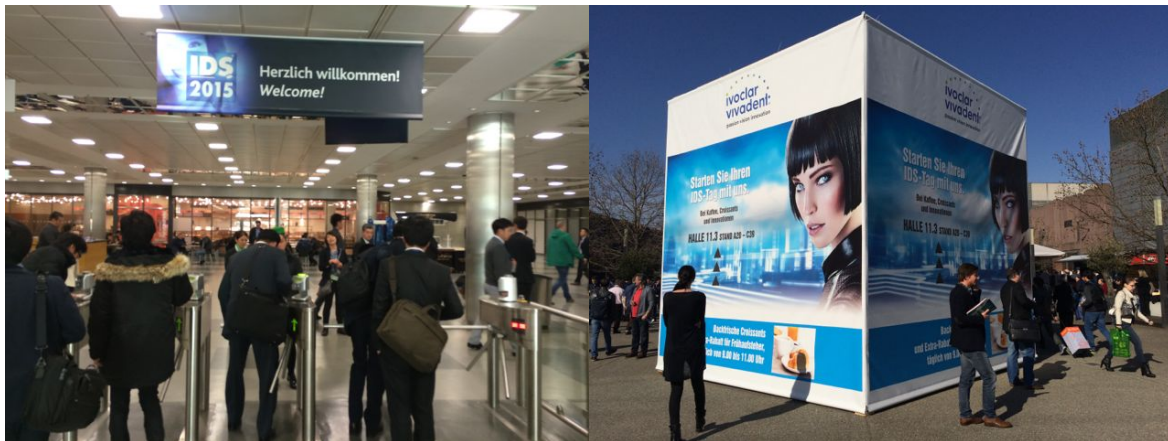


2015 年 IDS（ケルン国際デンタルショー）訪問レポート

世界最大のデンタルショーIDS が 2015 年 3 月 10～14 日までドイツのケルンにて開催されました。会場面積は 15 万㎡と東京ドームのグラウンド約 11.5 個分の非常に大きな会場で、出展者は 2,201 社、入場者は 151 カ国から 138,500 名以上と過去最大を記録する盛大なデンタルショーでした（先日の中部日本デンタルショーの 13 倍以上の来場者数と、世界最大のデンタルショーの規模の大きさがわかります）。



2 年に 1 度開催される IDS は「これからの 2 年のトレンドを読める場所」と言われるほど、注目されるデンタルショーで、各メーカーも IDS に合わせて多くの新製品等を発表します。

今回は、各社からは最新の『口腔内スキャナー、3D、4D、CAD/CAM、レーザーCAD/CAM、義歯用 CAD/CAM、ウ蝕診断装置』などなど、最新の診療器具が発表され、総合的な『デジタルデンティストリー』『近い未来像』が見える非常に興味深いデンタルショーでした。また、B・S クラスをメインとして発表される消毒滅菌関連器具や、豊富な種類の予防製品なども注目を浴びておりました。

下記、面白みを感じたブースや製品等を紹介させていただきます。気になる製品等ございましたらシラネ営業マンへお気軽にお声掛けください（まだ日本では発売時期や価格も未定の製品が多いですが、あしからずご了承ください）。

①	シロナ	P 3
②	カボ	P 4
③	ヘレウス	P 5
④	デュール	P 6
⑤	プランメカ	P 7
⑥	GC	P 8
⑦	ナカニシ	P 9
Break Time 1 ドイツケルンの町紹介		P10
⑧	ケアストリーム	P11
⑨	3 M	P12
⑩	デンツプライ	P13
⑪	ウルトラデント	P14
⑫	タカラ、モリタ	P15
⑬	アサヒレントゲン、オサダ	P16
⑭	クラレノリタケ、松風	P17
Break Time 2 IDS は飲み会会場？		P18
⑮	日本パビリオン（ヨシダなど）	P19
⑯	3 shape	P20
⑰	FKG	-
⑱	フィリップス	P21
⑲	EMS	-
㉔	その他会場風景	P22
終わりに…		P23

① シロナ



広い IDS 会場の中でも、ひと際大きく目立っていたホール 10-2 階のシロナブース。まず目を引くのが、何台も配置されている実演可能なセレックです。筐体（本体胴体）部分が不要で、スキャナを直接パソコンに繋ぐことのできる『新しいオムニカム』や、より進化したインプラントガイドの『セレックガイド 2』、またインビザライン(透明なマウスピース型矯正装置)の製作がセレックデータ送付により出来るシステムなどを発表しました。オムニカムのスキャニングデジタルデータを CAD/CAM 用だけでなく、多岐にわたり活用できる体制が充実してきております。

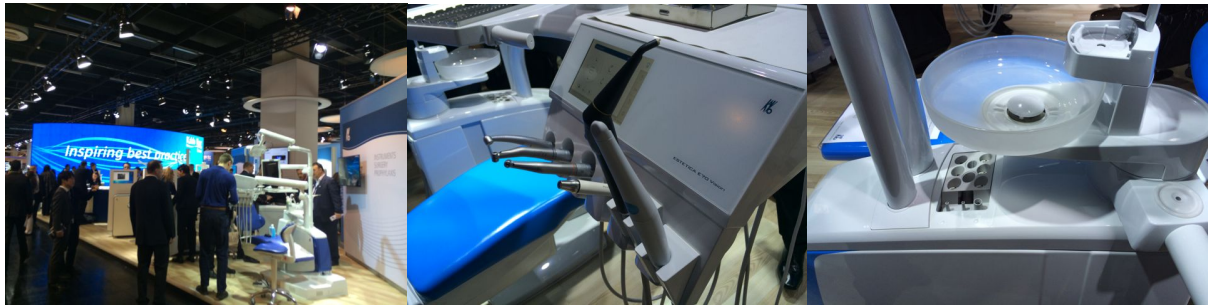


CT では Direct C-MOS センサー搭載で高繊細、かつ、従来の 8×8 から 11×10 へ FOV を拡張した『オルソフォス SL 3D』を発表。また、ガリレオス対応ソフトとして『SICAT FUNCTION』と『SICAT AIR』が発表されました。『SICAT FUNCTION』ではセンサー付のバイトのようなものを装着し顎運動を行うことで、3D 画像上で顎運動の動きも確認でき、「より」高精度な矯正装置の作成にも役立つようになりました。また、『SICAT AIR』では無呼吸症候群の方向けマウスピースをデジタルデータから作成します。口腔内スキャンや 3D のデジタルデータを活用した『デジタルデンティストリー』が進んでいます。



B クラス滅菌器ではデザインが変わった DAC プロフェッショナルに加え、滅菌時間 12 分、乾燥時間 6 分と大幅に速度も早くなった DAC プレミアムなど新しい B クラス滅菌器も登場。他にもブルーレーザーなど、多くの新製品が登場し、活況を呈しておりました。

② カボ



シロナブースの下、ホール 10・1 階のブースではドイツ両雄のもう 1 社カボが非常に大きなブースを構えておりました。バージョンアップしたユニットの『エステチカ E70/E80 Vision』を発表。カボのベストセラーユニット E70/E80 のテーブルモニターが刷新となり、同モニターで口腔内カメラ画像やレントゲン画像など患者さんデータの確認が可能となりました。また、水消毒もインスツルメントホースをそのまま接続するだけで洗浄をできるようなスロットの確保など、人気の E70/E80 が更に進化を遂げております。

5 倍速コントラではヘッドサイズが従来製品比 43% も小さくなり、アクセスしやすく、術視野も確保しやすい『M05L』が発表されました。実際に持ってみました、持ち易さも抜群でした。また、子供用コントラの『MASTER torque Mini』なども発表されておりました。



また、カボもチェアサイドでの『口腔内スキャナー+CAD/CAM』へ参入しました。チェアサイド用ミリングマシン『アーキティカエンジン』は多少大きめですが、チタンブロックも可能な性能を有しており、他社とはひと味違うミリングマシンです。以前から販売のラボ用ミリングマシン『エベレストエンジン』であれば、ディスクも切削可能で更にカボの CAD/CAM の選択肢が増え、利便性が高まっております。

③ ヘレウス



2013 年 7 月に三井化学がヘレウスデンタルを買収した後、初めての IDS ですが、Future Corner と銘打った一角で非常に『新しい未来』を感じる製品を 2 点参考出品しておりました。

1 点目がレーザー CAD/CAM です。CAD/CAM のミリングを、バーではなく、レーザー光によって行うというもの。2016 年 2 Q の販売開始を目標に開発を進めているのだとか。

2 点目は義歯用 CAD/CAM です。義歯床用の材料を CAD/CAM で削りだし、そこにフィットする人口歯を植え、義歯を作成するというものです。

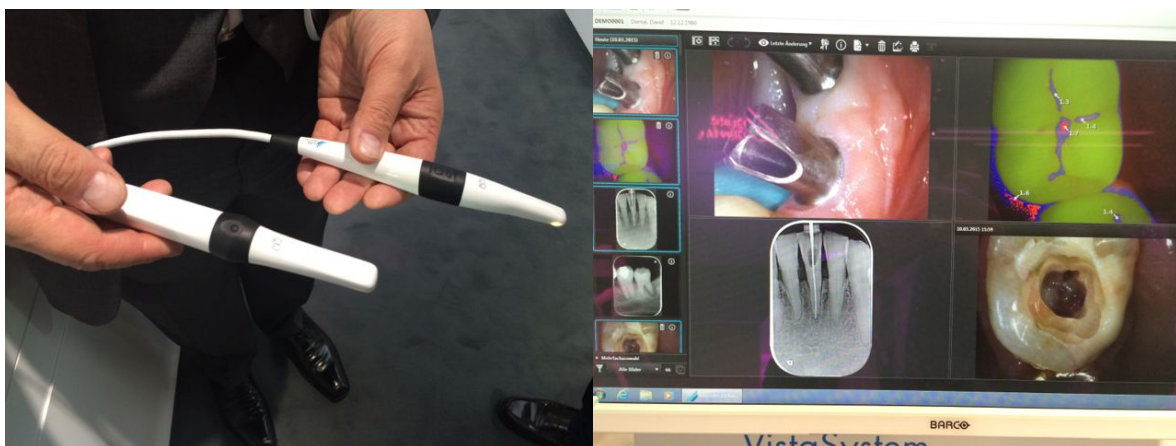


また、新発売の製品としては、i Bond のユニバーサルタイプ『i Bond Universal』を発表。他にも先日の中部日本デンタルショーで出展されていた CAD/CAM など多くの製品が注目を浴びておりました。ドイツの伝統的な企業に、日本企業の血が入った新生日独ハイブリッド企業の描く未来から、今後も目が離せません。

④ デュール



日本ではビスタスキャンやビスタカム、衛生関連製品などが有名な独デュール社。ドイツ及び世界では、コンプレッサー、バキューム、パノラマ他多くの製品を展開しており、社員は1,000人以上の大企業です。IDSでも大きなブースに、世界各国から多くの人々が来場しておりました。同社のコンプレッサーやバキュームは、メカ好きにはたまらないだろうなというデザインの品が数多く並んでいました。



今回のIDSでは注目製品として、『Vista Cam iX HD』が登場しました。通常の口腔内カメラ機能にプラスして、「ダイアグノカム」のようなウ蝕検知機能を搭載。ウ蝕検知結果は色で表され、健康なエナメル質は緑色、ウ蝕活性化されている部分は赤色で表示されるなど、診断もしやすく、また、患者様への説明もしやすい魅力的な製品です。オートフォーカスボタンも把持したままでのプッシュが容易位置に設置でピントも合わせやすい作り。また、レントゲン画像、口腔内カメラ画像、ウ蝕検知画像などを一画面で表示するシステムもあり、インフォームドコンセントに最適な製品が登場しました。

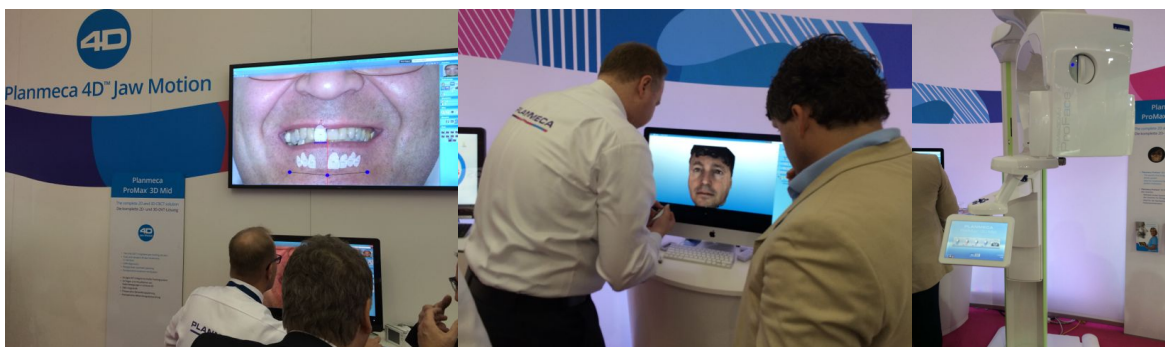
日本での登場も待ち遠しい製品です。

⑤ プランメカ



プランメカ社はフィンランドで 1971 年創業。2D や 3D のイメージング製品、歯科ユニットなどを中心に世界 120 カ国以上に販売し、売上高 740 百万ユーロ、従業員 2,700 名の大企業です。会場入口ではプランメカロボットが踊りながら迎える派手な演出で注目を集めていました。

会場奥には『4D』との表示があり、「なんだろう？ 3D に何が追加？」と思わせるあたり、コピーライトも「うまいな」と感じさせるプランメカです。内容を聞くと、3D に「顎の動き」を取り込み時間軸をプラスして 4D とのこと。シロナから発表のあった『SICAT FUNCTION』と似た機能ですが、「何だろう」と思わせる気の惹き方はうまいな…と思いました。各社、3D データを活用した診療補助機能が発展しており、デジタルデンティストリーの時代を感じることができます。



また、他にも注目を浴びていたのが『Romexis Smile Design』というソフト。デジカメでの顔面撮影画像を取り込んで、自然なスマイルラインを確認したり、シェード確認をしたり、Before・After のイメージ画像を表示したりなどができるソフトで、審美歯科をされる先生には特に注目ソフトの登場です。他にも、既に日本でも発売されているプロマックス 3D Mid プロフェイスでは 3D 顔貌画像の取り込みも可能で、CT 画像との組合せなどに注目が集まっていました。

⑥ GC



日本歯科界を代表するグローバル企業の GC も IDS に合わせて多くの新製品を発表しました。まず注目を集めたのが新しい小型口腔内スキャナーの『Aadva IOS』です。非常にスリムな口腔内スキャナーで、ノンパウダー、口腔内の取り回しも便利、日本人の口にもあった口腔内スキャナーが登場しました。オープン STL ファイルを提供する便利な口腔内スキャナーは欧州で秋頃発売予定。日本は薬事承認も必要なため、発売が先になりそうとのことでしたが、非常に楽しい製品が登場しました。

チェアサイド用ミリングのプランミルも発表。チェアサイドでの選択肢も広まります。乾湿両用のミリングマシン LDW-1 も参考出品ですが、紹介されていました。LDW-1 は発売時期も未定で先になりそうですが、面白い製品のお目見えに期待も高まります。



また人気の GC ポーセレンシステムのイニシャルシリーズからは、新しく『Initial LiSi』が登場しました。Lithium Disilicate（二ケイ酸リチウム(e-max など)）用で、イニシャルシリーズの選択肢が更に広まります。また、欧州市場向けに、新しいコンポジットレジンの『Essentia』や、ガラスアイオノマーとレジンのハイブリッド『Equia Forte』など多くの製品が商品されていました。MI ペーストも欧州向けにはフッ素入りの『MI ペーストプラス』など、日本では見かけない製品もありました。

日本だけでなく、世界市場に目を向け、それぞれの市場向けに多くの製品を供給する GC の今後の動きに注目が集まります。

⑦ ナカニシ(NSK)



独自の製品開発力と製造加工技術で、4年前にカボからインスツルメント世界トップシェアを奪取したニッチ分野の優良企業として、2015年2月の日経ビジネス『善い会社』特集で大きく取り上げられたナカニシ。世界市場に目を向けているナカニシはIDSにて大きなブースを確保し、新製品も多数出品しておりました。まず注目を浴びるのがコントラ&タービンの『Ti-MAX Z シリーズ』です。強いトルクかつウルトラミニヘッドの人気製品 Z85L は1点注水でしたが、Z85L とほぼ変わらないミニヘッドながら4点注水の新製品『Z84L』（4.5倍速）を発表しました。



他にも新製品として『i Care+』『i Clave plus、i Clave mini』『バリオスコンビプロ』が発表されました。

写真左上の『i Care+』はi Careの注油洗浄機能に、ハンドピース用ウォッシャーディスインフュクターのような機能が搭載された製品。日本では薬事に関連もあり、販売は「??」ですが、面白みのある製品です。

写真中央上の『i Clave、i Clave mini』は、それぞれBクラス、Sクラスの滅菌器です。特にSクラスのi Clave miniは小型でスタイリッシュですが、こちらは日本でも発売となる模様。

バリオスコンビプロは、バリオスでの超音波スケーラーと、パウダークリーニングのペリオメイトを両脇に差して利用できる機械で、パウダークリーニングのより一層の浸透が見込まれます。

多くの新製品を発表するNSKブースでは、多くの方が集まり熱心に新製品等を確認しておりました。

Break time ケルンの町案内

2年に一度、世界最大のデントルショーが開催される「ケルン」という町はどんな町かをみてみたいと思います。ケルンは、ドイツの中で「ベルリン、ミュンヘン、ハンブルグ」に続き4番目に人口が多い都市で、多様な産業が発展し、ライン川の中流に位置する交通の要所でもあります。日本で4番目に人口が多く、産業が発展し、交通の要所でもある「名古屋」と立ち位置は少し似ているかもしれませんね。



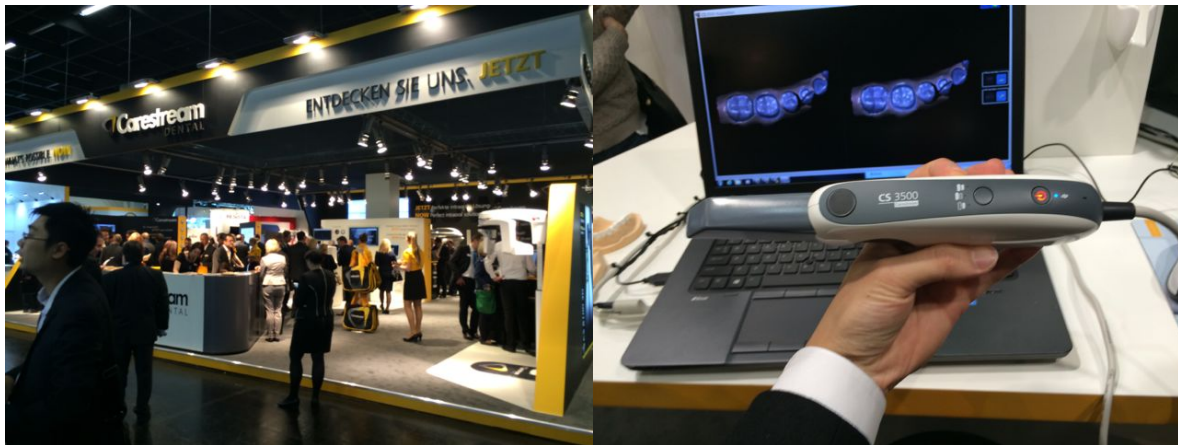
ケルンは紀元前ローマ帝国によってゲルマニア州の植民市として建設された都市で、名前はラテン語で植民市を意味する「Colonia」に由来するとされています。そんな紀元前からの歴史をもつケルンですが、ケルンの町の中心にあり、シンボルになっているのが「ケルン大聖堂」。ケルン大聖堂の1代目が完成したのは4世紀、2代目は9世紀、そして現存する大聖堂が「3代目」ですが、なんと1248年に着工し、宗教改革で一旦中断し、完成したのは1880年だったとのこと。完成当初はケルン大聖堂の157mが世界一の高さを誇る建築物だったとのことですが、今見ても威風堂々としたとても素敵な建物（1996年にユネスコ世界文化遺産にも登録）です。



ちなみに、香水の一種であるオーディコロン (eau de Cologne) は、フランス語で「ケルンの水」の意味。ナポレオンによるドイツ占領時代に「ケルンの水だよ」と家族や恋人へ贈り、大人気となって、それがフランス中に広まったとか。ゲーテ、ワグナー、ナポレオンなど歴史上の人物にも愛され、小説「ティファニーで朝食を」で主人公ホーリー・ゴライトリが、「うなじ」に吹きつけるも、このオーディコロンです。

観光地としても魅力を放つケルンに、1度、IDSなどを機会に訪れてみては如何でしょうか？

⑧ ケアストリーム



日本ではヨシダで発売されている『トロフィー』ブランドで有名なケアストリーム社は、旧イーストマンコダックのヘルスケア事業部で、本社はニューヨーク、従業員数 7,500 人、売上高 25 億ドルの巨大企業です。

ケアストリームからは、新型口腔内スキャナーの CS3500 を発表しました。同スキャナーは口腔内を連続カメラ撮影しますが、シャッター速度が従来品に比べ 2 倍に UP し、よりスムーズな撮影が可能となりました。カラー表示が可能でより診断がしやすくなっています。支台歯上の歯冠の形は、隣接歯だけでなくスキャニングした全ての歯列弓から推測自動作成され、微調整を加える程度でクラウンブリッジなどの補綴データも作成可能な注目製品です。



また、注目を浴びていたのは小型 IP スキャナーの CS7200 です。左上写真の左端機械で、小型かつ簡単な USB 接続。IP をスキャナーに差し込むだけで自動的にパソコン表示されるなど、パソコン操作をシンプルにしており、使い勝手も向上。価格もかなり低く抑えられており、日本での発売も気になる製品です。また、日本の「オシリス」に当たる機種から、上記の少し変わったデザインのセファロ付『CS8100SC』（2D）も新登場しました。

日本ではヨシダがどの製品を取扱い、いつから販売開始するかが気になるブランドです。

⑨ 3M



大きな3Mブースでは、新型の口腔内スキャナーが注目を浴びていました。非常にコンパクトかつスタイリッシュな口腔内スキャナーのボディで、日本人にもフィットしやすそうなスキャナーです。パウダーは必要とのことですが、その分、精度は高いとの説明。歯牙面にタッチした状態でのスキャンも可能とのこと、同距離を保って把持する必要はなく楽で、デモのスキャンでも、素早く、綺麗なスキャン画像が生まれていました。

他にも新製品としては、簡単なステップで充填が可能で物性も強い充填用アイオノマーセメントの『Ketac Universal』、新しいコンポジットレジンの『Filtek Bulk Fill』が発表されていました。

また、現在、日本では3Mの予防製品は販売されておきませんが、会場ではF-TCP（「フッ素」＋「リカルデントと同じような非結晶状態のリン酸／カルシウム（TCP）」）が含まれているという画期的な歯磨材なども展示されていました。リン酸／カルシウムは歯質の成分で、非結晶状態でフッ素と共に歯牙に供給すると、歯牙強化/再石灰化に役立つと聞いておりますが、歯磨材と一緒に供給出来てしまえば、強い予防の味方となりそうな製品です。日本でもこのような予防製品が出てきたら面白いですね。

⑩ デンツプライ



IDS 会場の中でもグループで大きなブースを形成していたデンツプライグループ。

その中でも特に注目を浴びていたのは、『ウェーブワンゴールド』です。次世代テクノロジーの金合金を採用することにより、破折抵抗性が従来品ウェーブワンより 50%も向上。高い破折抵抗性、柔軟性、切削性を備え、切削時間も従来品に比べ 19%も短縮できるなど、注目が集まる製品が発表されました。

また、スリムで視界も確保し易く、ハンドピースの状態が視認できるライトが手元についた『X スマート IQ』も新発表されました。ミニ iPad モニターと Bluetooth で情報伝達するため、コードレスで取り回しが楽な上に、ミニ iPad モニターも感覚的に使い易い使用となっております。



尚、WAVE ONE GOLD は従来版の X スマートプラスでも、X スマート IQ でも利用可能です。6 月に日本でも発売目標としておりますが、X スマートシリーズの新しい選択肢にも注目が集まります。

また、ここでも CAD/CAM コーナーが大人気でしたが、セルトラブロックも海外では豊富な種類があり、大々的に宣伝されていました。

今後も世界的大企業のデンツプライグループの動向に注目が必要です。

⑪ ウルトラデント



ウルトラデントで一番注目を浴びていたのは、新しいホームホワイトニングの『go』。ディスクポザブルの透明マウスガード内部にホワイトニング材が塗られており、シートを剥がして、歯に装着し、つばを飲むように吸引するだけで歯にピッタリとつきます（だんだん歯に馴染んできます）。お試しコーナーがあったので試してみましたが、簡単に装着でき、そのまま1時間弱会場を歩いた後、流しました。1回でもなんとなく少し歯が白くなった気がします。お客様へも一度説明すれば、即時に使用可能な製品で、使い勝手も非常に楽なので、これが日本でも販売開始となれば、ホワイトニングの裾野も一気に広がるのでは？？と感じる魅力的な製品でした。

また、ライトが強力な為に短時間照射が可能で、落ちても壊れないタフボディの人気光照射機の『VALO』も色々なカラーバリエーションがディスプレイされていました。女性にも親しまれそうなカラーリングで、期間限定でも日本で販売があれば面白いですね。

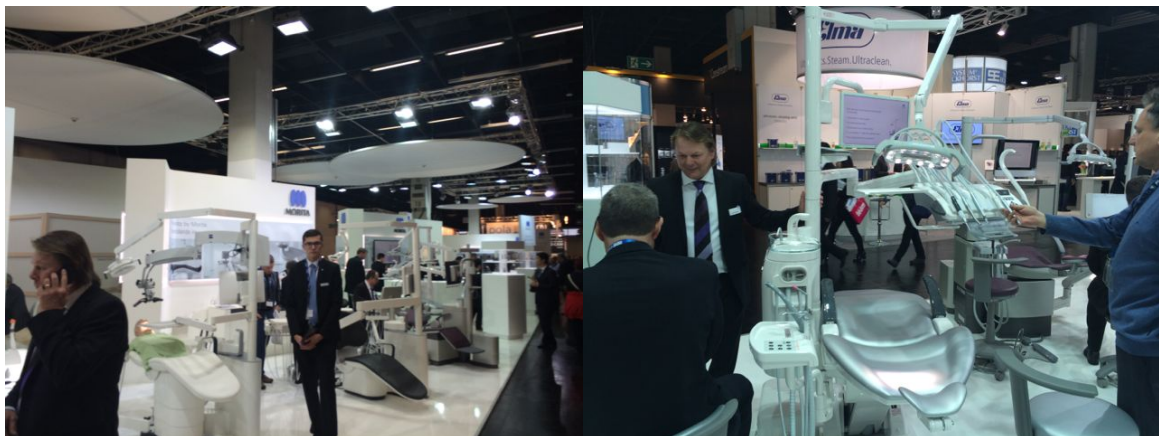
⑫ タカラ モリタ

<タカラ>



タカラのブースはプレシアを始め、日本でも御馴染みのユニットが数多く並んでいました。その中で、日本では見かけないシンプルなユニットを発見。東ヨーロッパや、中東アフリカ、アジアなど向けに開発された『GRADIA G1』というユニットで、日本のテレビなどでも一時取り上げられていたタカラのベトナム工場で作成された新興国向け戦略製品でした。世界各国からの来場者が多い IDS は、グローバル販売を行いたい会社にはもってこいの場所です。グローバルでの販売台数をのばしているタカラの一端を垣間みました。

<モリタ>



大きなブースを構え、展示内容は日本とさほど変わらないモリタ。見たことあったかな…？というユニットは、『SIGNO G-10』のフライングアームタイプで、欧州ではフライングアームが人気なので欧州向けに開発したユニットとの由。同タイプを日本で発売するかは？？ですが、やはりグローバルで活躍する企業は、同じように見えても、少しでも現地に浸透させるために色々な工夫をしているなと感じました。

⑬ オサダ アサヒレントゲン

<オサダ>



オサダブースでは、『オパルコンフォート』や、ポータブルユニット『デ이지ー』、レーザーなどを展示。特に注目を集めたのが、チェアが後方からでも乗り降り出来るように 180 度回転し、杖代わりとなるようなサポートアームがあるなど、健常者はもちろんのこと、足の不自由な方や、ご老人、幼児など全ての人に優しいユニット『オパルコンフォート』。通常のユニットとはひと味違うコンセプトに世界も目を向けていました。

<アサヒレントゲン>



アサヒレントゲンでは京都風の照明や壁・机を使用し、御馴染みの『AUGE SOLIO』や、『Cypher E』、『Hyper-G CM』などを中心に展示しておりました。また数多くの日本酒もディスプレイし、日本らしさを表現しておりましたが、この日本酒、実は展示してあるだけでなく、飲ませて頂けるのです。私も頂きましたが、IDS 会場で頂く日本酒は格別でした。

ビールやお茶、コーヒー、ジュースを休憩で頂けることの多い IDS 会場ですが、日本酒をこれだけ取り揃えているブースはアサヒしか発見出来ませんでした。日本酒がお好きな方、日本の味が恋しくなった方、次回の IDS ではアサヒブースを探して行ってみませんか？

⑭ クラレノリタケ 松風

<クラレノリタケ>



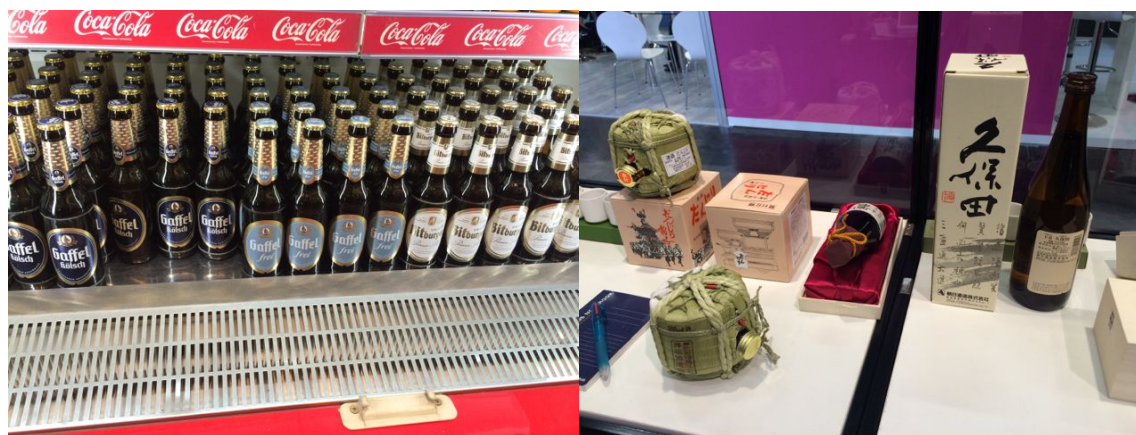
クラレノリタケはIDS 合わせて新しい製品の『パナビア V5』と、『刀ジルコニアディスク (ST、HT)』を投入しました。『パナビア V5』は全てのマテリアルに対して、プライマーを塗布し、セメントを塗るという1パターンのみで接着可能なストレスフリーの製品。刀ジルコニアディスクは透明性を有するジルコニアと紹介されており、注目を集めていました。

<松風>



松風は大きなブースを構え、日本でも御馴染みの製品を数多く展示しておりましたが、その中でも注目を浴びていたのが『アイスペシャル C-II』。世界から見たら、日本というだけでもキャノンやニコン、パナソニック、ソニー、富士フィルムと有名なデジタルカメラ作成会社が多いのですが、アイスペシャル C-IIは特に注目度が高いようです。

Break Time 2 IDS は飲み会会場？



さすがはビール大国のドイツ。昼に軽食を食べるコーナーにもビール各種がズラリとならび、各ブースでも休憩にとお茶やコーヒー、ジュースだけでなく、ビールをすすめて頂くブースもあります。日本ではビールを飲みながらデンタルショーというのは見かけませんが、そこはお国柄の違いなのでしょう。ちなみに知っている人には人気のアサヒレントゲン日本酒。外国の方にも好評のようです。



また、夕方になると、弾き語りの音楽まで始まり、ケルン名物で細い 200cc グラスに入った爽やかな軽口のケルッシュビールや、ドイツワインなどが振る舞われ、まさに宴会状態です。会場を1日中廻った後のケルッシュビールは最高でしたが、色々な方と、飲みながら気さくに交流できる場所としても面白いなと感じました。

⑮ 日本パビリオン（ヨシダなど）



日本パビリオンのヨシダブースでは、日本でも御馴染みの製品が並べられていましたが、特に注目を浴びていたのは『エクセラスマート F+ 3D』と、『デンタパックココロ』シリーズの訪問診療機器の各種です。特に『デンタパックココロ』は、これだけコンパクトな訪問診療機器の展示は IDS 他会場でも見られなかったもので、注目を浴びていました。

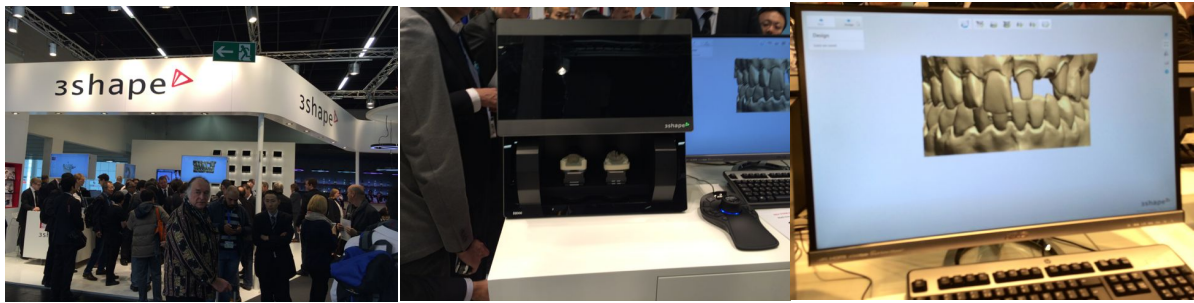


ミクロンからは、現在大人気のユリーなど、現行発売品の多くや、まだプロトタイプで販売は先ですが、エンドに特化したハンドピースなど新しい製品も展示しておりました。また亀水では Dil の機能印象を Before⇒After で分かりやすく展示するなどし、外国の方からも注目を浴びておりました。



他にも京セラ、ヤマキン、タスク、ニッシン、YDM、アイデント、ルビー、中村デンタル、ネオ製薬などが、日本パビリオンで出展し、日本の技術を世界に紹介していました。

⑩ 3 shape



多くの人だかりの 3 shape ブース。特に注目を集めていたのは上下顎の石膏模型を一度にスキャニングすることが可能となった新発売の D1000&D2000。スキャニングスピードが 30%早くなり、カラーキャプチャー、咬合情報も取り込み、生産性が最大 40%程度向上するという新型スキャナーです。

また、ハンディスキャナーのトリオスは、既にカボヤヘレウス、アサヒほか非常に多くの企業で採用されており、今迄のスキャナーも市場の大きな部分を占めています。他社を圧倒する開発スピードで、スキャナーの最前線を走る会社の 1 社の 3shape から今後も目が離せません。

⑪ FKG



FKG は、スイスに 1931 年創業で 80 年以上の歴史を誇る世界的に有名なエンド製品企業です。同社からは新しく『XP-endo Finisher』という Niti ファイルを発表しました。20℃以下ではまっすぐで、体温の 35℃以上になると根管に追従するように曲がる特殊なエンドフィニッシャー。マイクロスコープを多数設置してあるハンズオンコーナーで、多くの先生へ広めていました。ロレックス、オメガ、ゼニス、タグホイヤー、フランクミュラーなど世界の高級時計メーカーが集結し、精密機械産業には強みのあるスイスですが、歯科分野のスイス有力企業 FKG の動向からも目が離せません。

⑱ フィリップス



フィリップスは大きなブースを構え、多くの方々の注目を浴びていました。ソニックケアでは、ブラシの後方部分をシリコンのような軟らかい素材で覆い口腔内でのタッチを優しくした、新型ブラシや、ソニックケア用舌ブラシなど、面白い製品も紹介されていました。

予防製品の展示でもこれだけ大きなブースで、それが多くの来客で埋まるという、予防への関心の高さが伺えるブースの1つでした。

⑲ EMS



日本ではヨシダや松風などが販売している EMS 製品。「BYE BYE BIOFILM GOODBYE!!」と、大きなアニメロゴポスターを出し、会場での多くのパンフレットが入る紙袋を配っていたため、多くの方がこの紙袋を使用しておりました。

注目製品はパウダーメンテナンスの『エアフロー』で、パウダーも歯肉縁下・縁上で使用できるものなど、色々なものが用意されていました。ナカニシの『バリオスコンビプロ』のように、両脇に超音波スケーラーと、エアフローが設置できるタイプのものが展示されており注目を集めていました。

こちらも大きなブースでしたが多くの人で溢れており、予防への意識の高さが伺えます。

「BYE BYE BIOFILM GOODBYE!!」と、虫歯が進行する前に、定期検診などで原因を除去できる体制が広まるといいですね。

② その他会場風景



バーカウンター風のお洒落なデザインで集客する Tepe は、ノリノリの音楽がかかって踊っている人などもありました。会場では予防製品会社も大きなスペースを使用し、多くの方が来場し、予防への意識の高さが感じられるデンタルショーでもありました。



滅菌器は N クラスがまだ主流の日本ですが、IDS では B・S クラスの展示がほとんど。メラグやミーレなどの日本でも御馴染みの会社から、聞いたことのない会社まで、多くの会社が B クラス滅菌器を発表しておりました。左上の滅菌器はメラグの B クラスですが、大きいですね。



日本ではあまり知られていないメーカーからも個性的なユニットが多種見られました。ハローと言われているような左上写真ユニットの奥には、エンド専用のユニットカートがあったり、可愛いデザインユニットがあったり、世界の多様性を感じました。

終わりに…

IDS 訪問レポートを最後までご覧頂き誠にありがとうございました。

今回の IDS は、世界の各社から最新の『口腔内スキャナー』が多く発表され、光学印象・デジタル化の進展が「より」活性化してくると感じました。また、口腔内スキャナーや CT で取得したデジタル 3D 情報を色々な方面に活かし、3D に顎運動の時間軸情報加えた 4D など、デジタルリンクの方向性も見えてきております。CAD/CAM、レーザーCAD/CAM、義歯用 CAD/CAM など CAD/CAM も多様化し、ウ蝕診断装置ほか最新の診療器具が発表され、総合的な『デジタルデンティストリー』『近い未来像』が見える面白いデンタルショーだと筆者は感じましたが、如何でしたでしょうか？

次回の IDS は 2017 年 3 月 21 日～25 日に開催されます。今回のレポートで興味を持って頂いた方は、一度位訪問されてもよいかもしれませんね、

株式会社シラネは、歯科医療を支える歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手の皆様へのお役立ちを通じて、「人々の笑顔、健康」に寄与することを目指しております。皆々様の毎日の治療が、より安全安心に進められますよう、最新の歯科機械・器材の情報伝達や、セミナー情報等の発信に努めており、本レポートの情報発信もその一助となれば幸いと考えております。

気になる製品等がございましたら、お気軽に株式会社シラネ営業マンへお声掛けください。日本での発売予定日なども未定の製品も多数ありますが、できる限りの情報を提供してまいりたいと考えております。なお一層、器材のプロとして皆々様のご信頼が得られますよう、日々精進・研鑽をつんでいく所存ですので、引き続きのご愛顧、お引き立てをどうぞ宜しくお願い致します。

以 上